

予算要望511項目を提出

## 9月決算議会では 要望実現に奮闘

党議員団が提案した意見書が全会一致で可決されました



党議員団と党地区委員会連名の「要望書」を市長らに手渡しました。

日本共産党議員団は、511項目にのぼる新年度予算への要望書を、9月4日石井市長に提出しました。

8月30日から10月3日まで開催された9月議会では、この要望書をもとに2018年度の決算審査をおこない、決算分科会で各議員が要望実現のため奮闘しました。

決算の反対討論では、来年4月開校予定の小中一貫校（西宮浜義務教育学校）の問題点を指摘し、住民説明会で反対意見が圧倒的だった名神湾岸連絡線について、石井市長が推進

の姿勢であることなどを厳しく批判しました。

また、党議員団が提案した「国民健康保険の安定運営に係る財政基盤の強化を求める意見書」が、全会一致で可決されました。

### 公民館など施設使用料値上げ案 「継続審査」に

公民館などの施設使用料の値上げが、今年6月議会で示された「西宮市施設使用料指針」に基づき提案されました。「指針」では、施設の種類ごとに受益者負担率を定め、コスト（人件費などの経費）に対して使用料を設定するとされています。

例えば公民館の受益者負担率は指針では「25%」。仮にA公民館の年間コストが1000万円だとすると、そのうちの25%である250万円は利用者に負担してもらおうというものです。

党議員団は、そもそも公的施設における過度な「受益者負担」に賛成できません。加えて、減免の多い施設での考え方が定まっておらず、受益者負担率の設定根拠も不明瞭であるなどの理由で、政新会、会派ぜんしん、維新の会等と共に継続審査を求め、多数で継続審査となりました。今後、安易な使用料値上げを許さないために全力を尽くします。

### 「市長退職金ゼロ」今度は可決

石井市長の任期満了時の退職金を不支給とする条例案が、賛成多数で可決されました。「退職金ゼロ」は市長の選挙公約。昨年6月議会で「継続審査」となり、同9月議会で議案が一旦取り下げられ、このたび再提案されました。



### 職員不祥事で市長等給与カットと 再発防止策発表

昨年以降8人の逮捕者が出た職員不祥事の責任をとり、市長、副市長、教育長ら特別職の10月給与を10～5%減額する条例案が承認されました。また、入札情報漏えい事件を受け、入札制度の変更や研修強化等の再発防止策が発表されました。



ご相談はお気軽に 議員団控室 ☎0798-35-3368



野口あけみ

- 団長
- 副議長
- 総務常任委員

☎34-7329



佐藤みち子

- 幹事長
- 議会運営委員
- 健康福祉常任委員
- 都市計画審議会委員

☎42-2856



まつお正秀

- 民生常任委員会  
副委員長

☎73-0775



ひぐち光冬

- 教育子ども常任委員
- 社会福祉審議会委員

☎090-7764-0743



まつお正秀

### 市立中央体育館整備を見直せ

まつお正秀議員は、プロバスケットボールチームのホームアリーナとして建て替え計画が進められていた市立中央体育館について、この8月、チームからのホームアリーナ辞退の申し入れを踏まえ、整備規模を縮小すべきではないかと質問。市当局からはBリーグ（B1）基準に対応した整備の必要が無くなったため、トイレ数や部屋の配置を見直す方向は示されましたが、全体規模を縮小するとの答弁はありませんでした。まつお議員は改めて、市民要求の多い温水プールの整備や、「見るスポーツ」偏重ではなく、市民利用を中心とした適正規模への計画見直しを求めました。

### 公契約条例の制定を早く

また、まつお議員は、この間繰り返しとりあげてきた公契約条例について質問。市が過去に2年間研究した結果、「必要なし」と結論づけた公契約条例を、今年度からの5年計画である「西宮市働きやすいまちづくりプラン」で、検討すると変更した理由をまずいただきました。そして公契約条例を制定する場合は賃

金条項を盛り込むべきと強く求めました。市は、「過労死やブラック企業の問題、制定する自治体が増えていることが方針転換に至った理由」と説明。今年度は事業者、労働者に対してアンケート調査を行うという答弁があったものの、賃金条項を盛り込むべきとの質問には、具体的な回答はされませんでした。



佐藤みち子

### 「幼児教育無償化」 3～5歳児の副食費は、無償にすべき

佐藤みち子議員は、10月から始まる「幼児教育無償化」について質問しました。

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳～5歳児のすべての子どもの保育料は無償になりますが、0歳～2歳児の子どもの保育料は住民税非課税世帯のみ無償になります。

これまで保育料に含まれていた副食費（おかず代）は原則実費徴収となり、無償になるのは3歳～5歳児の生活保護世帯、一人親世帯、住民税非課税世帯、年収360万円未満世帯、全世帯の第3子のみです。

そこで佐藤議員は、今まで保育料軽減に市が単独で補助していた財源、8億2千万円のうち2億2千万円を使って、他市のように副食費をすべて無償にするよう求めました。石井市長は、「副食費は国が無償化の対象外としている。この考えや制度を基本とする」と冷たい答弁でした。

### 公立保育所 紙おむつ持ち帰りはやめよ

次に、佐藤議員は、公立保育所の紙おむつ持ち帰りについて質問しました。保護者からは「重い、臭い」と持ち帰りについては不評であると指摘。他市では、衛生面からもすでに市が処分して

おり、持ち帰りはやめて市が処分するよう求めました。市は「保育所での処分を開始した他市の事例などを研究する」と答弁しました。

## 縣市統合病院 基本計画骨子案が 発表される

**県** 立西宮病院と市立中央病院の統合再編で、診療体制等を検討する「懇話会」（学識者・医療関係者で構成）が、9月20日に行われました。

新病院の診療科は、両病院の現診療科を引き継ぐとともに、「脳神経内科」「精神科」「心臓血管外科」の3科を新設します。病床数は580床程度とし、高度急性期・急性期医療を担う中核的な病院となります。

中央病院の跡地利用については、周辺自治会や老人クラブ、近隣診療所、青愛協等で構成する「跡地における医療活用検討懇談会」を設置し、意見交換をしております。

今年度内に跡地利用も含めた基本計画が策定される予定です。

### 今津にこれ以上 道路はいらない

## 名神湾岸線説明会 反対の声渦巻く

**阪** 神高速神戸線、43号線の渋滞緩和等を目的に、国、県、市は、名神と湾岸線を結ぶ約3キロの名神湾岸連絡線整備を計画しています。このたび起点を今津水波町、終点を西宮浜1丁目とするルート案が初めて示され、地元説明会が4回開かれ、310名が参加しました。

説明会では、「43号線、阪神高速で騒音、振動、ばいじんが悩まされてきた今津でまた頭上に道路。住民をバカにしている」「莫大な税金を注ぐべきではない」など、不安の声、反対の声一色でした。市は、「皆さんの意見をお聞きする」としながらも、「この道路は必要だ」との見解は崩しませんでした。